

明専会の学生支援プログラムを活用し、 高レベルの人間力を培う学生生活を！

明専会会長 高原 正雄（機43）



皆さん、ご入学おめでとうございます。

ご家族の皆さまもこのめでたい日
を大変喜ばれていることと拝察し、
心よりお祝いを申し上げます。

さて、入学生の皆さんは今までに
大変な受験勉強を克服し、見事に入
学されました。これからは国際的に
通用するプロフェッショナル・エン
ジニアに成長するために、この九州
工大で工学に関わる専門的な学習や
研究に専心していただきたいと思っ
ます。天然資源の乏しい日本が、将
来に亘って先進国の一員として人類
社会の持続的発展に貢献し、豊かな

生活を実現することを目指した結果、
いまや世界に冠たる科学技術創造立
国になっておりますが、それを担っ
ている中心が工学でありました。母

校出身の先達は、九州工業大学の前
身・私立明治専門学校を創立された
安川敬一郎および山川健次郎両先生
の崇高な理念を忠実に実践され、そ
れに大きく貢献されました。実は、
その山川健次郎先生のことですが、
今年の1月22日、安倍首相の施政演
説の冒頭に耳を傾ける言葉がありま
す。ちよつと紹介いたします。

『百五十年前、明治という時代が
始まったその瞬間を、山川健次郎は、
政府軍と戦う会津白虎隊の一員とし
て迎えました。しかし、明治政府は、
国の未来のために、彼の能力を活か
し、活躍のチャンスを与えました。』

「国の力は、人に在り。」東京帝国
大学の総長に登用された山川健次郎
は、学生寮をつくるなど、貧しい家

庭の若者たちに学問の道を開くこと
に力を入れました。女性の教育も重
視し、日本初の女性博士の誕生を後
押ししました。明治という新しい時
代が育てた数多の^{あまた}人材は、技術優位
の欧米諸国が迫る「国難」とも呼ぶ
べき危機の中で、我が国の急速な近
代化を遂げる原動力になり、活躍を
しました。……』

まだ、続きますが、長州人の安倍
首相が、会津人の山川健次郎先生を
このように施政演説の冒頭に述べら
れたことに基づきました。この
山川健次郎先生こそ、明治専門学校
創立時の総裁となられ、彼が理想と
する学校づくりを行いました。その
私立明治専門学校は、のちに官立に
移管、そして、現在の国立九州工業
大学へと変遷した大変珍しい大学、
それも名門であります。本年度創立

109周年という永い歴史と伝統を有し、
今までに輩出した技術に堪能な卒業
生は既に6万名を数えます。その卒
業生からなる同窓会組織である一般
社団法人明専会は、その絆の強さで
国内トップレベルとして定評があり
ます。そして、常に大学と連携して
学生育成支援を強力に推進しており

ます。具体的には、企業などの第一
線で活躍されている明専会会員が学
生の皆さんに最先端の技術や技術者
の心構え等をFace to Faceで伝授
する「明専塾」や「明専スクール」
をはじめ、「学生のものづくりプロ
ジェクト」、「グローバル人材育成」
、「トップアップ人材育成」など、多
くの支援事業に取り組んでおります。
他大学では例を見ないこれらの明専
会による支援プログラムは、いずれ
も学生本人のやる気に基づいての参
加となります。課題が何なのかを自
分の頭で考えることができ、加えて、
それを解決できる能力を磨くことが
できます。九州工大という素晴らし
い人間形成の道場の中で、多くの人
たちと群れ合い、大いに切磋琢磨し
て、世のため人のためになれる技術
者を目指してください。

最後に、皆さんの先達の多くは、
世のため人のために偉大な功績を残
すとともに、母校をこよなく愛し同
窓の絆を大切にされました。皆さん
も明専会の会員であることに誇りを
持ち、絆を大切にして下さい。

（いすゞ自動車(株)理事）